



# 任務遂行に渾身の努力要望

## 社長、古野伊之助

### 新聞の新體制

新聞は思想戦線系の中で最も重要な部門を占めることは説明を要しない。この新聞が単なる個人若しくは集團の營利企業として營まれてゐたのでは今日の世界情勢に直面して日本の公的機關として國家の公器としての役割を務めて行くことは不可能であり幾多の支障を來すのである。

そこで新聞人と國家が渾然結び付いて、國民が國家のために新聞を通じて奉仕するといふやうに新聞報國の實體を新聞事業に與へたいといふのが今度の新聞新體制の眼目である。

新聞新體制は新聞全體の統制機關、新聞個々の形態と云ふ二つの點に根本的な變革の目標を置いたのである。それは近く總動員法の發動により新聞統制機關が確立しこれによつて、日本全土の新聞に對して新聞事業が資本制覇に禍ひされることなく、その本来の目的に精進し得るやう、つまり統合合併、買収、投資等はこの統制機關の承認せざる限り不可能であると

いふ制度が確立されるのである。個々の新聞に關しては、或る金

持が消費半分に新聞に手を出し、若くは政治的野心を持つた連中が足場に新聞を使ふといふことを完封して眞實に新聞の使命に生きる新聞人が新聞の運行を擔當して行くことと云ふ建前に全國の新聞が夫々改組される筈である。

思想戦線の三つの支柱であるラジオはその創業の當初から、これが公的機關として出来上つてゐる譯であるが、最後に残されたのは映畫である。映畫も亦それを通じて國民の主張、國民的輿論を善導するといふ公的的使命に鑑み映畫の新體制も恐らく年内には略々完成されるものと考へてゐる。

### 同盟の戦時體制

思想戦線の中樞機關これが即ち我々の同盟であるといふことを考へる時、長期に亘る經濟戰、思想戰に對して我等同志三千の擔當する任務の益々重大なることを思はざるを得ない。

時局の進展に連れて限られた人数、否現に多數の我々の同志は既

號 一 十 五 第  
月二十年六十和昭  
行 發 日 十  
行 發 日 十 回 一 月 毎  
錢 五 金 部 一 價 定 誌 本  
錢 拾 六 金 (共 稅) 年 一  
一 才 田 杉 編 兼 行 發  
人 印 印 刷  
一 七 西 四 路 區 區 京 市 京 東  
社 信 通 盟 同 所 行 發

に前線へ前線へと繰り出して居り益々減少して行く人数を以て益々膨脹して行く責任と使命を果して行かねばならぬといふのが我々の今直面してゐる問題である。これは獨り同盟自體の姿ではなく國民生活の凡ゆる分野に展開さ

## 宣戰布告の日

### 本社はさながら戰場

世界を驚倒させたわが太平洋電撃進攻は國內新聞通信社にとつても一應「聲耳に水」の驚きだつた。軍の企圖秘匿が如何に完璧たるかを裏書きするものもあるが「對米英交戦」の發表豫告が各新聞通信社に通過されたのは八日拂曉、實に發表前〇分、同盟本社では前夜の宿直員が直ちに大本營報道部へ飛ぶ豫ての緊急手配に従つて電話、電報で召集を受けた各部長は時を移さず集合、同盟の同報が全國に飛び、號外を鈴が響き渡る頃には既に陸海軍は元より外務省、各國大使館その他へ散つた記者諸君から情報か雜報か解説が洪水の様に押寄せ社内は戰場さながらの忙しさ。追かけて來る「宣戰布告」「大詔渙發」等、號外が何十枚出ても間に合はぬ超重大ニュースの連續がやつと一段落した途端、編輯室の真中からドツと戦聲が上つたのが「ハワイの大戦果」だ。

社内は再び紙と聲の大渦亂、九日の「マニラ沖海戰、英東洋艦隊主力全滅」十日の「比島敵前上陸」と息繼ぐ間もない捷報の連發で本社では最初の七十二時間殆んど不眠不休、今なほ大本營報道部には臨時に宿直を置いて不時の發表に備へてゐる。

なほ本社では十一日午前九時八階會議室で詔書奉戴式を舉行古野社長詔書を讀んで捧讀の後、戦時下全社員の覺悟に付き力強き訓示を行ひ、また山田總務局長職員を代表して聖旨を奉戴し一意報道報國に邁進すべき旨を誓ひ最後に社長の發聲にて聖壽萬歳を奉唱、式を終つた。

減する人数で多くなる責任を果して行く、それには一人々々統後

に残る我々が今までの倍三倍の犠牲を拂つて精いっぱい働いて行くといふ以外に道はない。そこで從來の各部署の制度を成るべく合併統合し互にその力を融通し合つて共に國家に對する任務を遂行して行かうといふことから部署の變更人員の配置等工夫を凝らした譯だこの變更の結果或は從來部長だつた連中が次長になつたり主任になつたり或はまた次長主任がたゞの社員に戻るかも知れないが、何處までも大同結盟の精神に立ち還つて同盟が今日の時局に直面して擔

## 昭和十六年を送る

### 參與 伊藤 正 德

(一)

昭和十六年も、三百六十五日であつた。それが慌たゞしく過ぎて行つた。米と酒の少い正月から、木炭と石炭の足りない嚴寒に續き早く春雨が風邪を治して呉れ、ば宜い、と待つてゐた春は、ツイ昨日のやうに思ふ。これは毎年同じことだ。したがつて其描寫は、プリントされてゐる作文に過ぎない。已めておこふ。

(二)

外を見ると、報道の對象となすべき世界の動きは物凄くばかりであつた。五月廿五日から三十日の獨艦ビスマーク對英艦フッドの戦ひは、専ら私の主觀的興味であるから擱き、六月に、ドイツが遽然としてソ聯邦に宣戰した一事は、世界の政情に變革的影響を及ぼした。世界戰爭の運命を決定する岐路も此所にあつたやうだ。私は、希望は別として、此戰爭の長期化を豫言した。本社の特信を讀んでゐる讀者は其軍事的理由を知つてゐる筈だ。戰爭が長くなれば、英米が利益し、獨英の間に軍事的均衡が生じて大戰の長期化は愈々避け難いものとなる。戰爭の長期化は即ち戰爭の本質とは逆なものである。何故なら、戰爭の目的は光輝ある平和にあり之を早く到來させる爲に列國は全力を擧げて戰爭をしてゐるのだ。ところが、世の中の現實は大概は理想と反對の方へ行つて了ふ。ドイツのソ聯戰爭も、軍事決戦に依て和局を早めようとした爲である。然るに決戦は具體化せず、世界を擧げて長期戦への準備を餘儀なくさせた。この意味で昭和十六年は世界の厄年であつたといへる。

(五頁へ續く)





# 職員會報

## 留守宅は我等職員會の手で

### 緊急本社班長會議

時局の緊迫化によつて同盟社員中から軍務に就く者が續出し今後この傾向は益々著しくならうとしてゐます。素よりこれらの同僚諸君は一死報國の決意を以て出かけられるのでありますが、それ／＼任地にあつて存分の活躍をされるためには後顧の憂ひを皆無ならしめることが最も肝要であるのは言ふまでもない處であります。

こゝに於て我々統後に残つた全社員の間に「我々」はこれら同僚の留守宅の御世話萬端を引受けやう」との非常時意識と同志愛に燃えた聲が澎湃として湧き上りこの結果本社では十一月十九日緊急班長會議を開催して社員の總意を議決し、次項の如き書面を「同盟職員會」の名を以てこれら同僚に發送しました。

時局の進展によつて我國は遂に最後の決意をなすべき秋に至りましたが、この重大時期に當つて皇國のために重責を擔つて公務につかれんとする貴君に對して我等三千の全社員を以てなる同盟職員會は謹んで敬意と感謝の念を捧げると共に貴君の武運長久を衷心よりお祈りします。

この時に當つて我々後に残つた社員は、親愛なる同僚諸君が我々に代つて敢然身を挺して公務につかれるのを漫然と拱手して見てゐ

ることが出来ず、去る十九日本社に緊急班長會議を開催して我等の同僚が壯途につかれた後の御家族は家庭の支柱を失つて何かと御不自由でせうし、また嗚かしく御心細く感じられることでもありませんが、御留守宅のことについては我々の手で出来るだけの御面倒を見て上げやうそれが我々の義務であり、また諸君等が任地にあつて後顧の憂ひなく充分に活躍される所以でもある。

と社員の總意を議決しました。どうか御留守宅のことは我々が引受けましたから御安心して御出かけ下さい。

今後貴君等ならびに御留守宅と我々とは職員會「班」を通じて絶えず聯絡を計り、御留守宅に不意に人手を要するやうな事が起つた時には御遠慮なく御申出を願つて我々が御手傳ひにかけつけ、冠婚葬祭其他にも萬事及び限りの御世話を致し度いと思ひます。また失禮乍ら不時の出費に御主人が御留守で御當惑されるやうなことも生じるかも知れませんが、そんな場合にも我々として極力御便宜を御計り致します。また時々御家族の方々に御集りを願つて慰安會も催し度いと考へてゐます。どうか御家族の方々にこの趣旨を充分御傳へ下さつて何事に拘

らず隔意なく「班」又は職員會幹事會まで御申出下さるやう御取計らひおき下さい。

壯途につかれるに當つて、我々の友情の一端を御傳へすると同時に重なる貴君に對する敬意を表する次第であります。

なほこれが具體的方法としては班員が絶えず留守宅と聯絡をとりその消息を社報を増頁して掲載しこれを先及び留守宅へ送付すること、同盟グラフ等の我々の刊行物を出来るだけ關係方面へ配布すること、家族招待慰安會乃至は運動會を開催すること等を考へてありますが、この外に良案があれば幹事まで御申出願ひます。

また各總支社局におかれても關係あるところは同様の措置を講じられるやう希望します。

## 嚴寒早朝歩行 常會

### 豐原支局

同盟職員會第五區豐原班では組織以來早朝常會も回を重ねること五回、十一月一日の定例日も早朝五時半霜凍る曉暗を衝いて荒尾支局長龍本班長以下毎回の如く一名の選參者もなく支局に參集。凍てつく神社通りを歩くこと四十分官幣大社神太神社假殿前に敬虔な二拜二拍手一試、次で護國神社に參拜嚴肅な黙禱を捧げ歸路につく。

仰げば雲峰鈴谷岳旭ヶ丘に金色燦たる大旭日が映えて壯嚴さ一入清氣全身に漲るを覺え皇國に生を享けた幸福をしみ／＼と感じた。

なほこの早朝常會は天候激變なき限り續行する豫定です。

## 班長異動

藤田義昌(編輯) 小座間茂(同)

## 戦地便り

### 今井至郎

滿洲國東安省虎頭 滿洲第五〇六部隊進藤隊

此處北滿にはとくに冬が訪れ吹雪にも度々見舞はれました。零下十四度ともなれば濕地は厚氷に張りつめられ交通は夏季より反つて便利です。

先日部隊長より賞詞を戴き、兵士としてのこの上もない名譽と喜び且この名譽を永久に傷付けまいと確／＼心に誓つてゐます。

### 坂巻三郎

中支派遣櫻井部隊荒木部隊 原田部隊間柄部隊相馬隊

既に早くにこちらに参りましたが長く〇〇の爲め御報告も出来ず今日に至りました。本社の支局もあるのですが川向の爲め未だに訪問も出来ずに居ります。

### 門脇誠

北支派遣平林部隊 沖部隊露務室

私もはや二年、どうやら軍務にも慣れ、去る八月に兵長、下士官勤務を命ぜられ、いゝ兵隊でお奉公を終りたいと念願して居ります。今居る町はこれと云ふほど取り立て、活氣を帯びた處ではありませんが、よく眼を凝らすと、その小さな社會の經濟も、圓域共通の性格が如實に感ぜられます。

### 宇山廣藏

南支派遣安田部隊廣瀬隊

南支はまだ寒さを知りません。だが暑さと濕氣は相當なものです。この方面の氣候には馴れてゐますから最後迄健闘出来るものと確信して居ります。

滿洲哈爾濱第三九軍事郵便所 氣付 滿洲六四二部隊花田隊 安達三郎

當地も既に酷寒二十度前後を往來して居りますが兵隊は自然の脅威を克服し營々として各自任務の遂行に邁進して居ります。

### 水島三津男

北支派遣吉田部隊 高木部隊

出征以來早や一年になります。御蔭を以て恙なく御奉公致して居ります。

當地は三寒四温調子乍ら季節は移つて居ります。

内地のごとく風もなく散る落葉のあわれを味ふすべもありませんが、一鉢の菊花に、豚追ふ小孩のカゲの長くなつて行くのに季節の推移をくみとつて居ります。

### 麻田芳郎

中支派遣酒井部隊九尾部隊

小生至極元氣にて御奉公して居ります。

本日は同盟通信報御送附下さいましてありがとうございます。社運の隆盛を遠く戦地にあつて聞きこゝろ嬉しく存じてゐます。

### 羅津要塞司令部氣付 米谷部隊本部 蟻正育純

當地は朝鮮も北寄りの邊鄙な處にはありますが、文化的には相當に於て居ります。清津日報は土地の新聞としては唯一のものでせう。新聞の利と同盟の専用線に授けられて大朝、大毎等九州紙に對抗してゐるのは雄々しい限りです。身近く我々の威力を感じ心強く嬉しいものがあります。

## 編輯庶務から

止ることを知らぬ同盟の仕事、その内でも二六時中活動して居る編輯局の庶務を司る四名の我々が任務、それは全く人目につかぬ細い苦勞ばかり、小は家ダニ驅除から大は自動車まで、疲れたら宿直者を少しでも安眠出来るようにせねばならぬし、ガソリン不足の際とて車が動けぬようになつては大變、極力ガソリン節約を計る一方代燃化に主力を注げばやれタイヤが、電池が部分品が、不足とこれ等の充足にはどうしても陳情だ。最近では殆ど毎日の如く關係當局への陳情運動。

だと云つてボーイさんから小使さん運轉手さん達の監督もせねばならぬ。一人のボーイさんの過失は直ちに我等の監督不行届と云ふことになるし、編輯局室の風の繁殖に至るまで我等の監督不行届にされる現状だ。

特に毎日頭を悩まされるのは自動車の操車これには各方面から不平の聲が高い。なにせ少量のガソリンを有効に使ふにはどうして無理が出来てくるのは當然で、これが対策として圓タクを使へとの聲を聞くが過日の政變に際し木炭車の非能率的な事は實験済み。そして我々の仕事には向かひなくそのことは利用された諸氏がよく解つて居ることと思ふ。時局は遂に「緊迫」の言葉から一歩前進しました。車の問題など皆さんの理解ある御協力に待てば直ちに解決することでも我等も時局の動きに針を指しながら車を動員することに努力するのみ。だがガソリン配給停止は目前に迫つた。後継部隊の編輯局専用自動車も早くも待機して居る。



# 青年團報



## 本社の防護團訓練

### 見事な出来栄え

本社青年團では時局に鑑み萬一の際には直ちに團の組織を防護團に編成し得るよう豫て大平副團長、山本、豊島兩幹事を中心に研究を進めて居たが、去る十一月九日午後二時より本社に大平副團長、鷹嘴、舟木兩顧問以下團員二百五十餘名参加の下に防護團訓練を實施した。先づ國民議禮の後大平副團長統監となり一場の訓示をなし防護團を組織化して置く必要を説かれ、その組織として青年團の各班は夫々班内の班員を消火班、搬出班、給水班、警備班、居残班の各係に豫め任命し置き萬一の際には直ちに夫々の部屬につけ得られる仕組となし、これが人選は各班長の手許に於いてなすべき旨述べられた後別稿の如く班長心得を發表した。

終つて全員各自の職場に待機、本部は編輯庶務に置き大平統監以下着席各班長は豫ての手配に基づき班員を各係に任命し消火班以下の各班長も豫め決定されて居るので直ちに一切の準備を完了。この時訓練警戒警報發令されるや各班は直ちに編成され夫々必要機材を整

備、間もなく訓練空襲警報發令され編輯局室内は一時混亂状態を呈せざるも警備班の一部は燈火管制訓練の一部は出入口の警備に當る等

### 防護團編成に就ての班長心得

- 一、班長は全班員を夫々消火、給水、警備、搬出、居残の各係に定めて置くこと。
- 一、班長は本部連絡員の指令受取次第直ちに本部の指示する場所に各係を夫々派遣すると共に自班の受持つ範圍内の仕事に支障なからしめぬ様平常より工夫して置くこと。
- 一、從つて各係決定に際し夫々班員の體格、健康、機敏等充分に考慮に入れて定めること。
- 一、居残り係は平常より二、三倍の仕事を受持つようになる故特に仕事に精通する者を選ぶこと。
- 一、班長は班員に平常より自己の職場に於て社員の指示する非常時持出品の置場所を心得おかしめ萬一の際直ちに之を其の部名に記入してある非常用袋に入れて搬出係に手渡し得る様にして置くこと。
- 一、搬出係は本部の指示する場所にて之を待出し任務終了せば直ちに搬出係長の下に歸り更に命令を待つて他の係への應援に赴くこと。
- 一、班長は消火係をして常に消火栓、消火器材の在る所を知悉せしめ置き萬一の際消火係は本部の指示する場所に集合すると共に消火服を着し必要器材を持つて消火係長の命令する場所に赴くこと。
- 一、班長は給水係をして常に水源を知らしめて置き給水係は直ちに其の場所に集合係長の命令一下消火係の給水を開始する。
- 一、班長は常に出入口又は非常口等を警備係に知悉せしめ置き警備係は班長の指示する場所に夫々集合警備につくこと。
- 一、班長は居残係に於て警備係に知悉せしめ置き警備係は班長の指示する場所に夫々集合警備につくこと。

遂に新館總務室の一角が敵機の爆弾に見舞はれ火災を起したとの連絡員の急報に直ちに自動消火に努める一方給水班は馬穴、ホースを提出し馬穴によるリレー給水を開始、他方編輯室に火災の延焼する恐れがあるので搬出班は命令一下三階の室からロープを道路上に待機するトラック(假想)に投げ降りし非常袋に持出品を入れこれをロープに傳はらせて搬出する等訓練は約一時間に亘り多大の成果を収めて終了した。

更に一同社前の道路に四列横隊に整列大平副團長より講評あり訓練は大體可なるも給水班の訓練が未だ足りないから之だけは近く訓練をやり直す旨述べられ、終つて

### 卓球始球式

本社青年團では團員の體位向上のため豫て注文中の卓球臺一臺が出来上つたので去る十一月九日午後七時より山本、豊島兩幹事並に來賓小林體育部長、竹田同次長始め體育部員以下團員百餘名参加の下に八階會議室で體育部の御厚意で特に我國卓球競技界のナンバーワン今孝氏を始め、前田昇、廣松泰三田村正雄の早大出身並に早大の四選手を招き始球式を舉行、四選手によりシングルス、ダブルス三試合を行ひその見事なプレーに一同感服した。ついで團員選手が挑戦したが問題にならず團員の練習あり九時頃終了した。小林體育部長より卓球ボール二打、バット四本の御寄贈があつた。

### 名古屋支社に速記者養成講習會

名古屋支社では、伸び行く社業の要請に應へ、且つは青少年従業員に職業技能を授け、その生活意識を昂揚し、報道報國への積極的挺身を促進する目的から常設的な社内機關として「速記者養成講習會」を置くこととなり、去る十一月五日その開講式を舉行、國民儀禮、吉川支社長訓辭、荒井通信部長の激勵の辭等あつて輝かしく發足した。

講習會は勿論會費不用、初等科(中根式速記術基本文字より高等速記まで)講師(角道和三君)練習科(速記文字習得者)に對する朗讀速記、電話速記の指導練習

### 嚴冬の警鐘

名古屋支社 井上正一

團員諸君よ、健かなりや、寒風の多は遂に來た。鼠には霜が下り池には氷がはり、遠山には眞白に雪が降つた。吹き止まぬ寒風に萬物悉く打沈み、草木は悉く枯れ果てた。

然し吾々青年は打沈んでならぬ。精神に肉體に若き情熱をたぎらせて、古いゆかしい歴史の底を流れる生命を枯すことなく、正義の御旗を打立て、雄々しく前進しなければならぬ。火花のやうに頬を刺す寒風が來やうと、吹雪が來やうと、何の！ 枯らしてならない、吾等の若き情熱である。危局は正に帝國百年の運命を賭せり！ 興亡に如何こそ！ 報國を亂打しつゝ若き熱情を枯すことなく報國の御旗を高く掲げ大同結盟！ 只管進まん！

### 私達の一日

タイプ主任 加藤とゆめ

十一時半、そろそろ原稿が混み出して來る。

外信、社會、政治、等々、大急ぎ、大々至急などの朱書が眼を射るうちにズバリ原稿が並ぶ。ボンボンボン自づと緊張して片手端からの總攻撃……

「これ切つて下さい……」

「あと入りですが……」

「あんな一生懸命が……」

打つ手の早さは云はずもがな、打ち上げた原稿を運ぶ足の早さ、體を斜にしての小走りだ。

二十臺の機械が一齊に動いて、さしもの要塞堅固な原稿の城壁もどん／＼その一角から崩れ行く「これ夕刊に入れるんだ、間に合せて呉れ……」

締切時間開際の無理な御註文も「特急つばめよ……」

と直ちに處理、きれいに片附いた原稿を眺めて

「忙がしかつたわね……」

とお互ひに顔見合せてホツとす。一時頃を最後の食事が終れば「夕刊過ぎた氣安さはあれど白魚の如きやさしき指はまたキを握つて」東亞番外の、社會番外と……今度のはバツクにせる原稿外との戦ひ……リフ、發電、演藝、解説等現物と織りなして一日の仕事を打ち上げる頃は、遙かな白壁の議事堂が夢の様に夕霧に包まれる

### 「年頭所感」募集

「世界新秩序建設の歴史的階梯を劃すべき年頭に際し、國策的通信事業に携はる吾々は自ら決意を新たにせねばなりません。……」

△次號新年號に皆さんの年頭所感をもちりも發表しお互に難局突破を誓はふではありませんか。

△十五字詰三十行程度のもの。

締切は一月三日。

# 報道精神の發露

## 特派員の決死報道陣

大東亞戦争は海外新聞電報網にも大變動を來たし、本社外電陣も全く相貌を一變した。開戦と同時にRCA、プレスワイヤレス其他の東京・北米無線連絡が杜絶したのでアメリカ系ニュースは勿論、從來アメリカを経由した歐洲電も一瞬にして沈黙してしまひ、今のところ、東京・ベルリン、東京・ローマ、東京・モスクワ、東京・ジュネーブ等の無電が亞歐の通信連絡を保つのみ。

又ワシントンの加藤、河上、ニューヨークの橋本、安保、山崎、木下、手島、寺西、サンフランシスコの秋山、友松、ロサンゼルス、の山口、ヴァンクーバの鈴木、ロンドンの長谷川、皆藤、シンガポールの飼手、バタヴィアの安藤新穂、齋藤、マニラの牧内、ボンペーの嶺山、メキシコの久野各特派員が八日朝來忽然として消息を斷ち恐らく監禁を受けてゐると推定され、ニューヨーク支局を初めとし別掲の様な悲壯極まる決死電を打つてをり、報道人豫ての覚悟とは云へ我々の胸を痛く打つ。

保、寺西、木下、山崎、平島  
(ブエノスエリョ)十二月八日着

我々最後の日の仕事は終つた。今後如何なる事態に立到らうとも我々は之に處する用意を整へてゐる。今までの所全部員身邊無事にして健康なり。貴下の健康を祈り暫しの別れを告げん。

本社宛  
ワシントン加藤萬壽男  
(十二月四日着)

各社特派員の減員に關聯し小生にも此際歸朝する様にとの御話なるが今日尙日米交渉の見透し確然と付き難く、重大なる報道任務を捨て、歸朝するは誠に自責の念に耐えず(中略)一身上の問題は之を別としても(中略)當地及びニューヨークとも同盟が全責任を負つて當ることが、最善の方法なりと信ず。右に關し更に御指示を請ふ。

本社宛  
佐々木ローマ支局長  
(十二月八日發)

故國未曾有の難局同僚諸氏の御健闘を祈る。米國種當地で相當カバリーする必要ありと思ふが御指示乞ふ。

本社宛  
マドリッド堀口支局長  
(十二月八日發)

故國の重大事に際し最善を盡す覺悟。皆様の御健闘を祈る。

古野社長へ  
ニューヨーク支局 稻本、安

## 大阪、神戸、日映合同 厚生鍛錬大會

十一月九日大阪支社、神戸支局日映大阪支社合同の社員、家族厚生鍛錬大會を山紫秋光の寶塚外園大運動場に開催し出征及び海外在勤社員の家族をも加へて總勢九百名出席、盛大を極めた。

心持ち東北の秋風はあつたが秋空一碧正に絶好の鍛錬日和で、大日章旗と吾等が同盟旗の翻巻とはためめインポールを中心に九百の老幼男女會衆が心行く迄鍛錬に競技に終日歡を盡し、文字通り大同盟家族の和親の實を上げた。

一同の國民儀禮、福岡大阪支社長の開會挨拶に續き直ちに競技に入り百米豫選を皮切りに假裝競走大下駄競走、新聞記者競走、出動競走、障物物競走、片輪競走など時局色豊かな種目は元より、年齢性別を問はず會衆の誰でも参加出来る種目が釣瓶打ちに續けられ満場爆笑、哄笑、ヤンヤの拍手を買ひ殊に親子リレーの珍風景は格別の喝采を博した。やがて當日の賑巻たる大阪支社各部對抗リレーとなり、猛烈な聲援裡に各部選手抜きつ抜かれつのシーソーゲームを演じた末、結局若手勢を擁する發送部に凱歌が上つて、支社名額を授與された。

暮れるに早い晩秋の陽射しを受けて掉尾を飾る三社對抗リレーは満場總立ちの聲援應援の熱狂裡に火蓋を切つたが、大阪猛走よく日映の進撃を退けて悠々優勝、満場の拍手裡に優勝旗を獲得した。

斯くてトラックにフィールドに三十二種目に亘る熱戦を滞りなく終了、最後に川島神戸支局長の發聲で全員萬歳を三唱して午後四時半散會した。初の試みである厚生鍛錬大會は盛り上がる同盟家族の親和の意氣を反映し、長時間聊かでもダレるどころか時の移るに従つて益々油が乗る有様で全く期待に倍する大成功を収めた。

西部軍主腦  
福岡支社見學

西部軍司令部では時局の緊迫に伴ひ通信機關の重要性を痛感し、福岡支社を見學した。

即ち十一月五日午後三時野溝報道部長以下五名來訪麻生支社長より本社の通信施設並に福岡を中心とした聯絡關係、支社の機構等につき説明の後、同報、無電、通信、寫眞の各設備機構について熱心に見學、ついで支社首腦と懇談を重ね、機構の完備と機能の高度化に感嘆し時局下協力を誓つて五時辭去した。

## 仙峽裾花を歩く

信州裾花峽は日本百景の一つである。今は昔謡曲「紅葉狩」で名の高い鬼女の岩窟は長野市を距る十六キロの地點にある。そこは仙境裾花峽の名勝の一つ。

この鬼女の岩窟へ歩けくをしたら支局員一同十五名、菊薫る十一月三日の佳節朝早くより物凄く粉装をしたものあり、配給の地下足袋を得意氣に穿いたものあり、何れも湯々たる意氣で登る程に歩く程に裾花の流れは潺々として奇岩を洗ひ、溪谷の錦繡は餘りにも眼を射る。恍惚たる眺めは一行の足を數キロにして留め、昔々鬼女が住んだと云ふ岩窟を指呼の間に望みつ、歸途を急ぎ歩けくを續續し夕刻戰場に歸つた(平生)

秋田支局便り

我社六周年記念の十一月七日午前九時、支局員一同折柄晴れ渡つた支局屋上に參集、宮城遙拜戰後英靈に默禱を捧げた後執務、更に午後三時半一同記念撮影の後、事務室に於て社長の訓諭、報道報團正確迅速、大同結盟を齊唱の後、物故社員の靈に默禱を捧げたる後、さやかな乾會の祝宴を催し「同盟萬歳」を三唱し意氣深き記念日を終つた。

源關、小林兩特派員に感謝狀

拜啓 時下益々御清祥之段奉賀候陳者今次河南作戦に際し貴社より當部隊に派遣せられ候特派員源關正壽、小林廣茂君は大黃河渡河より鄭州入城迄常に第一線將兵と共に彈雨をくぐり第一線報道者たるの任務を遂行せられ其熱烈決死の御行動に對し小官誠に感謝感激に不堪候茲に作戦を完了するに當り乍ら簡單に書中本報に於ける貴特派員の御苦勞に對し深厚なる謝意を表すると共に報道戰線の御活躍御報御一報申上度如斯御座候尙御兩君へも宜敷御傳へ下され度願上候

古野伊之助 敬具  
十一月二十七日

(一頁より續く)  
(三)  
ここまで書いて、さて日本を顧みる順序となつたとき——。アメリカは、太平洋平和會談を蹴つて、日本に「やれるならやつて見ろ」と體裁のいい痰阿を切つた。「怒り心頭に發す」といふ感情が、一億の心に燃へ上つた。忽ち帝國海軍の雷撃機が天險ホノルルの軍港を襲ひ、戦艦二隻を屠り四隻を傷つけるといふ歴史的大戰績を擧げ、引返してシンガポール周邊の英國海軍主力を撃碎してつた。

大戦争と大戦捷とが、厄年を一瞬で吹き飛ばした。この戦には藥を喰んでも勝たなければならぬ。和戰兩論、強弱兩觀、黨派的對立、前途觀の睨み合ひ——悉く溶けて一つの戦勝決意に固まつた。後代史家は、之を神風と呼ぶであらう。

支局長 岩崎 七郎  
支局長 青戸 修  
支局長 高木 慶司

盛岡、那覇、花連 港三支局開設

今般盛岡那覇及び花連港に左記の通り夫々支局を開設。  
盛岡市内丸 新岩手日報社内  
法人同盟通信社盛岡支局

那覇市東町二ノ二 沖縄新報社内  
法人同盟通信社那覇支局  
花連港街 東臺灣新報社内  
法人同盟通信社花連港支局  
支局長 高木 慶司

新岩手日報社内  
法人同盟通信社盛岡支局

新岩手日報社内  
法人同盟通信社盛岡支局

